

春作バレイシヨのドローン一貫防除

地上散布と同等の効果

近年さまざまな場面でのドローンの利用が進

み、農業分野でも省力化や軽労化、人手不足の解消の手段として期待され

図1 モモアカアブラムシの個体数推移

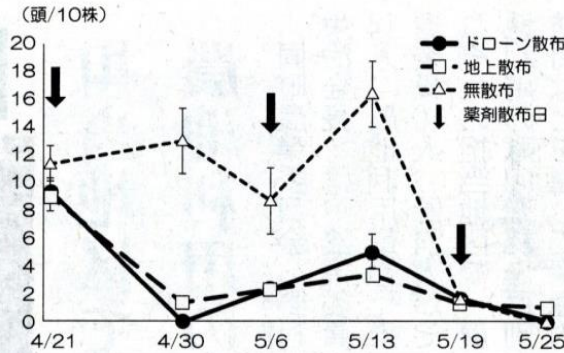
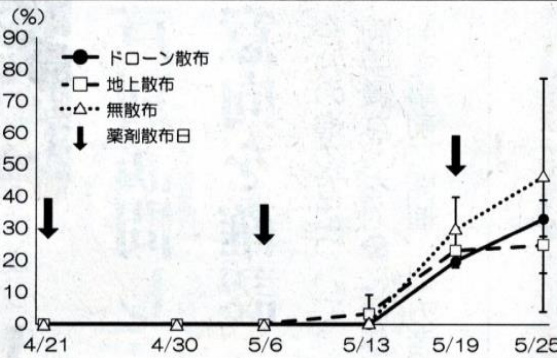


図2 疫病の発病率推移



ている。一方、県内で見られる急傾斜地の中小規模の畑作圃場での利用はあまり検討されていない。そこで、バレイシヨにおけるドローンの体系防除確立に向け、春作でのドローン一貫防除の実証試験を行った。

試験は露地栽培の「ニシユタカ」で行った。使用した薬剤は試験実施時点でバレイシヨの空中散布に登録があるものを使用し、比較対照として同じ薬剤を地上散布した区を設けた。ドローンはD

J I社製のMG-1Pを用いた。防除は3回行い、毎回殺菌剤と殺虫剤を混用して散布した。

この結果、アブラムシ類、疫病とも地上散布と同等に抑えることができた(図1・図2)。また、すべて薬剤の混用散布で行ったが、バレイシヨ茎葉の薬害の発生や収量への影響はみられなかった。

ドローン一貫防除体系をさらに進めていくため、今後登録された薬剤についても、その効果を検討していく必要がある。

(農林技術開発センター)

現場で使える！研究成果